

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 多木化学(株) 本社工場

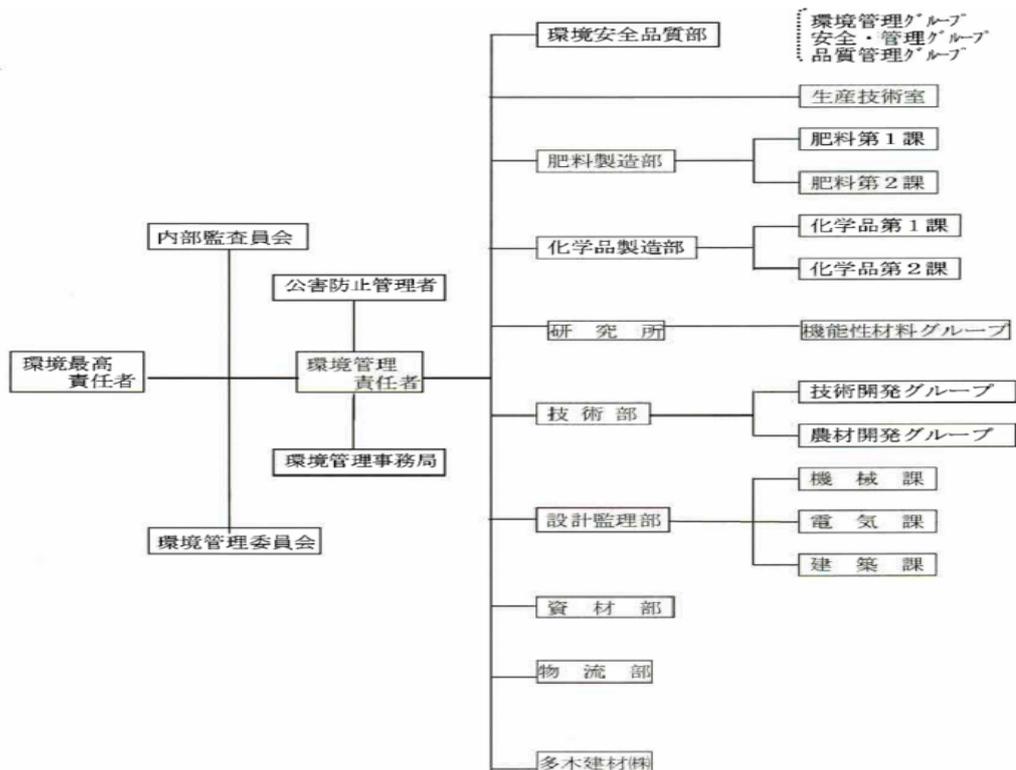
1 環境保全活動に関する方針等

1 - 1 環境保全活動に関する方針

1. 事業活動のあらゆる面で、環境影響の把握と環境負荷の低減を重視し、環境改善への取組を推進します。
2. 省エネルギー・省資源、廃棄物の削減およびその他の環境負荷低減のため、継続的な改善と汚染の予防に努めます。
3. 環境関連法律・規制・協定、同意するその他要項を順守します。
4. 環境目的・目標を定め、実施し、定期的な見直しを行います。
5. 廃棄物の処理・再生に努め、循環型社会の形成に貢献します。
6. 地域の環境保全に努め、地域社会との調和に努めます。
7. 全従業員が環境方針を理解し、環境に関する意識向上のため、環境に関する教育・啓蒙を行います。
8. この環境方針は求めに応じて社外に提供します。

公表の方法は、社内へは環境方針の複写物を作成し、全従業員に配布します。
社外より開示を求められた場合は、環境管理事務局が複写物を配布します。
また、弊社ホームページ上にも掲載し、一般に公表しています。

1 - 2 環境保全活動に関する組織体制



2 - 1 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果	今後の取組計画
省エネルギー	<p>平成19年度のエネルギー - 原単位に対して、20年度は0.4%の削減となる。目標値としていた前年比1.0%削減は、達成できなかった。これは、環境対策の強化目的で新設した排水処理設備の稼働により、エネルギー - 原単位が0.9%増加したことによる。</p>	<p>別紙報告 (別紙2 - 2)</p>
廃棄物削減	<p>外部に排出する廃棄物について、金属屑、廃プラスチック古紙・ダンボールといった品目毎に取り組みを進めた。前年(19年度)比で、金属屑は60%減(3.3t 1.3t)古紙・ダンボールについては3%減(57t 55t)となり、目標を達成。</p> <p>廃プラスチックは24%増(104t 129t)、木くずについては、23%増(39t 48t)となり、目標は未達成。焼却生活ゴミは10kg/人・年以下となり、目標を達成。</p>	<p>別紙報告</p>
環境配慮製品の購入推進	<ul style="list-style-type: none"> ・作業服にリサイクル布使用品を採用。 ・エコマーク商品(文具)の採用を拡大。 ・薄肉肥料袋の使用を推進しました。平成20年度末の肥料袋入荷分のうち平均で45%を薄肉肥料袋とした。目標は38%の使用なので目標を達成。 ・コピー用紙(リサイクル品)を購入・継続。 ・社有車にハイブリット車を導入。 	<p>別紙報告</p>
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・工場の全社員を対象に環境基本教育を年1回(20年7月)実施。 ・各部門毎に手順書教育を実施。 ・環境ニュースを発行し環境意識の啓蒙を図った。 	<p>別紙報告</p>
社会貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> ・本社工場従業員による工場周辺清掃を年1回(20年11月)実施。 ・工場駐車場及び、工場敷地外側の清掃を定期実施。 ・アイドリング・ストップの実施を継続。 	<p>別紙報告</p>

2 - 2 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果	今後の取組計画
環境マネジメントシステム		<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針に基づく I S O 活動の推進 ・監視測定の強化 ・内部監査の充実
廃棄物削減		<ul style="list-style-type: none"> ・金属酸化物工場廃液排出量の削減 目標値 前年比 5 0 %削減 方策 濃縮設備の効率的運転 濃縮廃液の再利用化の推進
設備保全		<ul style="list-style-type: none"> ・臭気・粉塵の建屋外への飛散防止 ・設備の老朽化防止
環境教育		<ul style="list-style-type: none"> ・工場全従業員への教育実施 目標値 年一回
社会貢献活動		<ul style="list-style-type: none"> ・工場周辺地区美化活動の実施 目標値 年一回
特定物質排出抑制		<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ活動の推進 ・省エネ設備の導入 ・アイドリングストップ活動の継続